

第72回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、社会における様々な“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。安全に安心して暮らしていきたいという誰もが抱く願いは、この“生きづらさ”に寄り添う草の根の活動、そして、人と人とが支え合うコミュニティを通じて実現されていきます。

犯罪や非行の防止と立ち直り支援は、国や地方公共団体が一体となって推進していくとともに、保護司をはじめとする民間協力者、そして、地域の多くの方々の御理解と御協力をいただきながら、社会全体で取り組むことが大切です。“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人の誰もが社会に受け入れられるよう、分野を超えて、それぞれの立場で創意工夫を凝らしていただきながら、包摂的な社会を実現してまいりましょう。

国民の皆様には、「社会を明るくする運動」の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「^{しあわせ}幸福の黄色い羽根」のもと、本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

岸田文雄

“社会を明るくする運動”にご協力を

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～
－第72回運動の推進に当たって－

“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

例年、県内でも、街頭啓発活動や住民大会、防犯パトロールなど、地域に根差したさまざまな活動が展開されています。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を十分にとりながら、街頭啓発活動や防犯パトロールなどの活動が実施されました。

この運動に携わっておられる保護司や協力雇用主などの皆さまの熱意とご努力に心から敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

県では、これまで、「地域生活定着支援センター」を設置し、刑務所などを退所する高齢者や障がいのある人並びに、起訴猶予、執行猶予となった人が、必要な福祉サービスを利用できるよう支援を行うとともに、非行などの問題を抱える少年たちの就労支援や居場所の確保などに取り組んできました。

また、令和2年度に設置した「性暴力加害者相談窓口」においては、再犯防止専門プログラムの実施や生活自立支援などにより、性暴力加害者を再犯防止と社会復帰の両面で支援しているところです。

犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちが孤立することなく、再び社会を構成する一員として地域の中で「働き」「暮らし」「育てる」ことができる社会を構築するためには、県民の皆さまに、“社会を明るくする運動”に対する理解を深めていただくとともに、地域に根差した諸活動をさらに充実させることが重要です。

今後とも、国、市町村、民間の団体やその他の関係者の皆さまと連携協力して、“社会を明るくする運動”の一層の推進を図り、犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちに対する、息の長い支援を行ってまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年 6月28日

第72回“社会を明るくする運動”福岡県推進委員会委員長
福岡県知事 服部 誠太郎